



豊かな自然の中で
生命の鼓動を感じるまち

▲実り豊かな秋景

そ 曾 於

創刊号

2005.11 No.1

議会だより

編集発行：鹿児島県曾於市議会
〒899-8692
鹿児島県曾於市末吉町二之方1980
☎0986-76-8816 FAX0986-76-1122

● 主な内容 ●

新市初議会
第一回臨時会



15P

新市政に問う
一般質問に7人

8P

委員会審議

6P

人事案件
助役他16名選任



4P

市の全会計予算
323億円を可決

2P

を可決!

9月定例議会



所信表明をする池田市長

9月定例会は、9月13日に開会し、10月4日に閉会しました。

今議会では、平成17年度の一般会計予算や曾於市助役の定数を定める条例の制定、曾於市表彰条例の制定など議案49件、助役の選任など同意案13件、平成16年度旧3町水道事業会計決算など認定案3件、義務教育費国庫負担制度堅持に関する陳情書など陳情3件、甘しょ・でん粉政策・価格に関する意見書案など発議4件、専決処分事項の承認案1件などが審議されました。

平成17年度 一般会計予算

175億6,500万円このように使われます

☆市民サービスのために	➡	21億9,948万3千円
議会費		1億9,206万6千円
総務費		20億741万7千円
☆生きがいと健康のために	➡	51億5,380万6千円
民生費		39億3,847万7千円
衛生費		12億1,532万9千円
☆豊かな暮らしのために	➡	17億8,650万円
労働費		276万5千円
農林水産業費		16億6,254万4千円
商工費		1億2,119万1千円
☆くらしと安全のために	➡	27億8,463万4千円
土木費		20億8,346万9千円
消防費		4億7,458万円
災害復旧費		2億2,658万5千円
☆文化と教養のために	➡	18億8,889万7千円
教育費		18億8,889万7千円
☆返済のために	➡	37億3,168万円
公債費		37億3,168万円
☆備えのために	➡	2,000万円
予備費		2,000万円

曾於市の平成17年度予算編成にあたりましては、旧3町の平成17年度予算がそれぞれの議会で議決された予算であることから、盛り込まれてある事務事業を継承し、適切に執行することを基本方針としました。よって、旧3町の当初予算額に6月補正分を加えた額の合計額から4月から6月までの旧町での執行見込額を差し引いた額に、合併後、新たに経費を必要とする額を追加するとともに、既に事業が完了した事務事業については、不用額

を減額した予算となっております。その結果、歳入のうち、市税等の自主財源は、71億9,584万6千円（構成41・0％）で、地方交付税及び市債等の依存財源は、103億6,915万4千円（構成比59・0％）となりました。

歳出は、人件費が、30億3,689万円（構成比17・3％）、扶助費20億4,894万9千円（構成比11・7％）、公債費37億3,168万円（構成比21・2％）、普通建設事業費33億5,361万2千円（構成比19・1％）となり、予算総額は、歳入歳出それぞれ175億6,500万円となりました。主な事業は、電子計算機システム管理費1億2,277万6千円、庁舎改修事業費1億7,079万1千円、曾於北部衛生処理組合負担金2億6,511万1千円、道路維持費1億5,111万1千円、東九州自動車道流末排水路整備事業1億8,058万円などが計上されています。

175億6,500万円

平成17年度

予算審議



本会議で質問中の議員席

22日の本会議では、7人の議員が一般会計予算について質問をしました。主な質問は次のとおりです。

問 曾於東部・北部地区土地改良事業基金の積立金の内訳について

答 曾於東部地区・北部地区の土地改良事業の円滑な事業のため平成17年度7736万9千円の積

立てを予定している。内訳は、曾於東部地区2600万円、曾於東部地区基金繰入金2636万9千円、曾於北部地区2500万円であるが、繰入金については曾於市土地改良事業基金条例に基づき基金の運用をするにあたり、平成10年度金利の高かった農業農村整備資金償還補助金の軽減を図るため、2億4974万844円の組替え運用を行い、繰戻し利率1%で元利均等償還を平成11年度から10年間、毎年度繰戻しを行っているものである。

問 地方交付税・財政調整基金の大きな修正の要因は。歳入状況は現在予定通りか

答 地方交付税については、7月26日知事より決定通知があり、それに基づき旧3町分の合計を1億2400万円程度減額した。

財政調整基金の繰入れの減額（3億4500万円程度）については、旧3町の決算における剰余金による減額が主要因である。

歳入については、現在のところ予定通りであるが、今後事業等で歳出が見込まれる場合は、補正等必要になると考えている。

問 介護用品支給事業の対象者はどのように定めているのか

答 要介護度4・5に該当し、市民税非課税世帯に属する在宅の高齢者を

問 都城盆地地下水保全対策会議の内容と、どのような意見集約が行われたのか

答 都城盆地地下水保全対策会議は、住民の貴重な水資源である盆地の地下水を将来にわたって保全するため都市など1市8町で連絡協議会を設置し、地下水について調査研究および保全体制の推進、啓発活動、地下水保全事業の推進などを行っている。各地域連携をとりながら広域的に取り組んでいきたい。

問 債務負担行為の内容と考え方について

答 旧末吉町分129件、旧大隅町分11件、旧財部町分8件、曾於市分4件、計152件であり、旧3町で議決されたものを新市に引き継いだものである。補助的な意味でなく、利子補給という形で債務負担を考えた方がよいのではないかと思うが、

今後の設定については市長とも打合わせをし、進めていきたい。

問 総合企画審議会、まちづくり審議会委員等の選定について

答 過去に委員を公募で行ったことがあるが、応募者がいなかった経緯もある。積極的な希望者がいればそれを公募して行うが、場合によってはこちらからお願いすることも大事であるので、公募にどうかどうかというところも考え両面から検討していきたい。

人事案件

助役に

中山 喜夫氏

を選任

曾於市最初の助役（二人制）に中山喜夫氏（末吉町諏訪方）・上段幸徳氏（大隅町荒谷）の両氏を選任したい旨、市長より提案があり、議会では中山喜夫氏を同意しましたが、上段幸徳氏は不同意とすることに決定しました。（詳しくは、市広報11月号をご覧ください）

教育委員会委員に

青山 昭雄氏

山中ミチ子氏

を選任

教育委員会委員に青山昭雄氏（末吉町二之方）・山中ミチ子氏（末吉町岩崎）・高松修平氏（大隅町大谷）・蛭牟田長治氏（財部町北俣）・成松博之氏（大隅町鳴神町）の5氏を任命したい旨、市長より提案があり、議会では、青山昭雄氏・山中ミチ子氏の両氏は同意することに決定し、高松修平氏・蛭牟田長治氏・成松博之氏の3氏は不同意とすることに決定しました。（詳しくは、市広報11月号をご覧ください）

固定資産評価審査委員会委員に

白坂 睦郎氏

大休寺 茂氏

谷口 憲幸氏

を選任

固定資産評価審査委員会委員に白坂睦郎氏（財部町北俣）・大休寺茂氏（末吉町南之郷）・谷口憲幸氏（大隅町大谷）の3氏を選任したい旨、市長から提案があり、議会では同意することに決定しました。

特別会計予算可決

- 国民健康保険
44億1千万円
- 老人保健
58億9千万円
- 介護保険
34億9千万円
- 公共下水道事業
4億1千万円
- 生活排水処理事業
1億1千万円

水道事業会計予算可決

- 収益的支出
4億4千万円



谷口 憲幸氏



大休寺 茂氏



白坂 睦郎氏



小川原義一氏



岩寄 覺氏

監査委員に
岩寄 覺氏(識見)
小川原義一氏(議員)
を選任

識見を有する者から選出する監査委員に岩寄覺氏(大隅町岩川)を、議員のうちから選出する監査委員に小川原義一氏(大隅町月野)をそれぞれ選任したい旨、市長から提案があり、議会では同意することに決定しました。

選挙管理委員及び
補充員を選出

選挙管理委員に吉田貞夫氏(末吉町岩崎)・郷田勇氏(末吉町二之方)川下充氏(大隅町月野)今畠中宏氏(財部町南俣)を選出しました。
また、補充員に野村健氏(大隅町岩川)・前田誠氏(財部町下財部)・増田悟氏(末吉町深川)・富岡覺氏(末吉町諏訪方)を選出しました。

固定資産評価員に
中山 喜夫氏
を選任

固定資産評価員に中山喜夫氏(前曾於市総務部長)を選任したい旨、市長から提案があり、議会では同意することに決定しました。

可決された
意見書

道路整備の促進及び道路財源の確保等に関する意見書

義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書

甘しょ・でん粉政策・価格に関する意見書

採択した陳情

◆義務教育費国庫負担制度堅持に関する陳情書

公立小・中学校の教職員給与の二分の一を負担している「義務教育費国庫負担制度」について、その在り方が根本的に見直されれば、地方財政を圧迫するだけでなく、教育水準を著しく低下させる恐れがあるため、同制度の堅持についての意見書提出の要請

陳情者 曾於市末吉町 吉元浩

◆甘しょ・でん粉政策・価格に関する陳情書

甘しょの生産価格並びに国内産でん粉価格は引き下げの基調にあり、またWTO農業交渉における枠組み合意後の交渉やFTA交渉の結果次第では、本県の甘しょ・でん粉生産に大影響を与えることから、国による政策支援を求める意見書提出の要請

陳情者 ぞお鹿児島農業協同組合
代表理事組合長 西高一規 ほか1名

議会用語

意見書

議会が機関連意の決定として、当該団体の公益に関する事項について、内容に制限がなく広く関係行政庁へ提出することが認められているものである。
特定のことから対し、

請願

て適切な措置をとってもらうため、その実情を訴えることをいう。地方議会への陳情は、法律上、請願と区別される。
住民が希望を議会に願い出ること、議員の紹介及び文書によらなければならぬ。用件を備えた請願はこれらの受理を拒むことはできない。

●●●平成16年度決算審査について●●●

平成16年度一般会計及び特別会計の決算認定にかかる議会の審査は、在任特例期間中に行う予定でありました。しかし、監査委員選任の遅れ等諸般の事情により、任期中に旧3町分の審査を実施するには、日程的にも困難な状況であると判断され、改選後の新議員で実施することになりました。

委員会活動

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会は、9月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(谷川善明委員長)は、曾於市表彰条例の制定など5件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案3件を賛成多数、議案1件を全会一致で可決し、陳情1件を継続審査としました。

☆曾於市表彰条例の制定

市政振興に寄与し、また、大衆の模範と認める行為があつた者を表彰するのに必要な条例であります。また、本条例に定める10年を12年にすべきであるとの意見を付して、可決するべきものと決定しました。

☆曾於市過疎地域自立促進計画

本市最初の計画は大隅、財部の計画を基本として未吉にあつては総合振興計画を勘案して策定されたものです。今回の計画は合併後の1段階的な処置であると考えます。本市の総合振興計画の策定が急務であり、過疎地域

自立促進計画は中身を十分検討し実施されるよう要請し、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市一般会計予算

総務費、一般管理費の職員採用試験審査委託料について、市長の出席を求め審査しました。職員採用については、定員適



最大瞬間風速 41.4 mの台風14号

正化計画に基づき採用計画の根拠がはっきりしなければいけないもので、採用人員については、畜産技術職員は2名とはつきり示されたが、一般事務職員については今後の変動を考慮し若干名と答弁されました。当初答弁された若干名6名は、認められない状況にあり、最小限の人員採用を計画するよう強い意見を出し、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市一般会計予算の補正(第1号)

台風14号及び落雷の被害による追加予算で有線柱の倒柱・傾柱43件及び断線406件の復旧に要する経費であります。

☆退職補償金の支給についての陳情

委員会では、継続審査としました。

文教厚生常任委員会

(大川原主税委員長)は、曾於市奨学生推薦委員会設置条例の制定など8件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案4件を賛成多数、議案3件を全会一致で可決し、陳情1件を採択しました。

☆曾於市奨学生推薦委員会設置条例の制定

条例の内容・規則について、任期の1年は短いのでは、また、旧末吉町の第3子奨学金制度や旧財部町の愛甲育英資金の

遺志をくんで別にしたほうがいいのではとの話もあつたが、曾於市全体としての奨学金として制定することになりました。

☆平成17年度曾於市一般会計予算

学校図書運営費について、文部科学省が定めた基準に対して問題なく対応しているか、また、図書館の管理のあり方や、図書の購入予算について確保するように意見が付けられました。

なお、福祉関係で保育料の早期統一化の意見や公共施設における収支改善の意見等を出し、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市国民健康保険特別会計予算

疾病予防やレセプト点検等を重点的に、療養費の抑制に取り組んで欲しいとの意見や、保険税の滞納でどうしても納められない納税者については、減免措置等、分析研究して欲しいとの意見を出し、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市老人保健特別会計予算

医療費の負担割合は、平成16年10月から平成17年9月までは支払基金100分の58、国600分の168、県600分の42、市町村600分の42、平成17年10月から平成18年9月までは支払基金100分の54、国600分の184、県600分の46、市町村600分の46を負担して運営するものであります。

☆平成17年度曾於市 介護保険特別会計予算

介護保険制度には、限度的なものもあり、現状としては反対であるが、全国では素晴らしい運営をしている自治体もあるので、将来的には運営次第で賛成に転じることもあるとの討論がありました。したが、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市 生活排水処理事業特別 会計予算

優れた制度であるので普及に力をいれ、起債については充分検討して進めるべきとの意見を付して、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市 一般会計予算の補正 (第1号)

台風14号及び落雷で被害を受けた施設の復旧による追加予算で、小学校管理費では、台風被害14件と末吉小水中ポンプの落雷被害、中学校費では、旧月野中屋上防水シート等台風被害9件の復旧に要する経費であります。

子供たちの健やかな発達を願い、確かな学力と生きる力を育てる教育の推進のためにも、必要不可欠であるとの意見の一致を見、採択するべきものと決定しました。

☆義務教育費国庫負担制 度堅持に関する陳情

質問したところ、今年度中は暫定予算どおりの率として、18年度から0・2の負担にするように努めるとの答弁がありました。また、市内3ヶ所の直販所についても統一した運営内容にするべきであるとし、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市 公共下水道事業特別会 計予算

一時借入限度額4億円は予算に相当する額であるがとの質問に対し、工事等の緊急性を考慮したものであるとの答弁がありました。また、委員に認識を深めてもらうため下水道処理施設を調査しました。

☆平成17年度曾於市 水道事業会計予算

石綿管にアスベストが含まれ飲料水への害はないかと質問したところ、水道水による害はないものと考えられるが、布設工事等で出る粉塵等による害はあるとの答弁がありました。また、石綿管の布設状況を質問したところ、末吉町で2ヶ所3600m、大隅町で6ヶ所1035mとの答弁がありました。

☆平成17年度曾於市 一般会計予算の補正 (第1号)

台風14号で被害を受けた災害復旧の追加予算で、農林関係では、農業用施設災害復旧は3町合計で241件、小災害(40万円以下)で対応するものが126件、農地災害復旧は3町合計で130件、市単独農地災害復旧事業補助金は16件です。土木関係では、河川15件、道路21件の計36件で、市単独については、大隅町で16件であります。

なお、工事額の大きなものは、農林関係で600万円以上が排水路で3件、土木関係で700万円以上が河川で3件、道路で6件であります。

☆甘しょ・でん粉政策・ 価格に関する陳情

再生産に必要な現行原料も価格を堅持し、生産拡大に伴う機材等への助成、政府のでん粉買入価格が引下げ基調であることなどから、でん粉買入価格の本年度産買入価格の堅持等であり、南九州畑作の主幹作物で、台風強いことから、採択するべきものと決定しました。

建設経済常任委員会

(坂元勝委員長)は、曾於市一般会計予算など5件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案4件を全会一致で可決し、陳情1件を採択しました。



校舎建設工事の始まった大隅町笠木小

☆平成17年度曾於市 一般会計予算

復旧費地元負担金について、財部0・2、末吉0・3、大隅0・4の割合は、合併した予算編成の中で統一すべきではないかと

復旧費地元負担金について、財部0・2、末吉0・3、大隅0・4の割合は、合併した予算編成の中で統一すべきではないかと



県畜産共進会(郡中央家畜市場)

問5

一般質問 7議員登壇



鶴 實友 議員

財部温泉センターに 歩行浴施設を！

市長／資金的問題もあるが検討する。

鶴實友議員

財部温泉

源の掘削により予定していた湧出量が確保されたと聞いている。

この際、温泉施設の充実と市民の健康増進をはかる為歩行浴施設を造ってほしいとの要望がある。

池田市長 スペースが
なく対応が出来ない。未



新たな泉源掘削される財部温泉センター

吉の施設を利用してほしい。
問 スペースは前の方に充分ある。

市長 男女両方に造ることになり、大がかりな増設は金がかかる。今後検討をして参りたい。

掘削価格はいくらか

問 掘削経費は予定価格の何%で入札されたか。

市長 掘削により毎分70リットル、一日百トン、38・6度であるが予定価格は1億198万3550円、落札価格9765万円で95・7%である。(株)日本地下技術が落札した。適正な入札価格と考える。

小倉・七村線を 基幹道路に

問 現在、新田から高之峰入口(七村)まで、国道から小倉〜七村線1kmの道路整備が計画されている。この道路を直結して七村の基幹道にすべきと思うがどう思うか。

市長 基幹道として、市之坂〜小倉線、平原下鶴橋から小倉線を国道へのアクセス道としても考えられる。

問 下鶴橋から国道へのアクセスは要望がない、この道路はブロック等が多く金がかかる。四集落の駐在員会の要望は新田から小倉線への直結である。

市長 下鶴橋から七村を通って末吉への連絡道としても考えられるということである。路面的にはよいが現状では良くないので前向に考えながら検討したい。中央線については、必要かどうか色々な考え方があ

旧町ごとに有線 オフトーク放送を

問 音声が悪い、関係のないことが多い、聞きたくないと言ってスイッチを切る。そんな苦情が多く寄せられている。

従前通り旧町ごとに放送する考えはないか。

市長 苦情については週2回から毎日の放送に変わったことから放送回数、内容等が増えた。3地区共通する内容を効率よくお伝えしたい。情報を発信する重要なものであり、広報内容検討等委員会を



合併特例道路整備事業の小倉・七村線

設けて対応したい。

問 3地区共通の部分と各町ごとにローカル化する考えはないか。

市長 合併して一体感をはからなければと思っている。当分は現在そのままやって行きたい。

問 アナウンサーの声が聞き取り難いとのことだがどうするか。

市長 アナウンサーについては委託であり、業者に伝えてある。

問 苦情が相当来ていると思うがどうか。

市長 聞いている。これも委託業者に伝えてある。

埋め立て堆肥の撤去と訴訟の考えは

市長／法的な根拠がない

新 市政に



宮迫 勝 議員

宮迫勝議員

堆肥公害

で住民と認識を共有すべ
きだと思う。李比野と谷
ヶ峯の現場へ行かれたか。
池田市長 李比野には
行ったが谷ヶ峯へは行っ
ていない。

問 堆肥の不法投棄で訴
訟の考えはないか。

市長 法的根拠がないの
でできない。今後させな
いようにする。

問 今後埋め立てをさせ
ないのは当然である。地
元は今ある埋め立てた堆
肥の撤去を求めている。
市長 撤去を求める根拠
が見つからない。

問 水資源保護、環境保
全のための条例制定の考
えはないか。

市長 法を超えての条例
制定はできない。今後勉
強したい。

問 地元住民、中野集落

から安全安心な市水道の
設置を望む声がある。

市長 距離的にも経費が
かかりすぎる。今の段階
では無理である。

問 住民の声は切実であ
る。今後署名等を集めて
再度取り上げていく。



シートで覆われた堆肥

たい。

問 今年予算を70歳以
上の高齢者の人数で割れ
ば、一人2700円にな
る。全ての高齢者への支
給ができるではないか。

市長 今後高齢化率が33%
と予測される。全ての高
齢者への支給は

考えていない。

問 千円でも2
千円でもいいか
ら分けへだてな
く全ての高齢者
に支給をという
のが、圧倒的多
数の声である。
実現するまで今
後も取り組んで
いく。

敬老祝い金を 全ての高齢者に

問 敬老祝い金の節目支
給は多くの不満や批判の
声がある。全ての高齢者
に支給すべきではないか。

市長 合併協議会で御祝
い金として節目支給に決
まった。ご理解いただき

シルバー人材の 送迎車は続けるべき

問 車の便がなく現場ま
で行けなくなる人が出て
くる。送迎車は続けるべ
きではないか。

市長 シルバーの理念で
ある自主、自立でのぞみ
たい。

小学校に簡易の 照明設備を

問 財部水泳スポーツ少
年団はプール清掃を、手
出しで専門業者に依頼し
ている。地方財政法で学
校施設の維持管理・修繕
に父母の負担を求めている
ならないとある。まず現
場を調査して対処すべき
ではないか。

山元教育長 現場におも
むき、財政当局とも前向
きに対処したい。



日没後練習するサッカー少年団

問 コースロープが
割れたものを使用し
ている。点検して危
険と思われるものは
交換すべきではない
か。

教育長 現場には指
示を出してある。子
供にケガがあつては
ならない。応分の負
担は考えたい。

市長 安全が第一で
ある。早急に対処し
たい。

問 サッカーの少年
団から簡単なもの
も良いから照明設備
を求める声があるが、ど
う考えるか。

教育長 練習時間を早め
るとかナイター施設を併
用していただきたい。
問 ナイター施設を使う
には金がかかる。だから
父母はお願いしている。
この問題は今後も引き続
き取り上げていきたい。

問 小中学校の汲み取り
トイレを水洗化する考え
はないか。
教育長 年次的に漸時計
画し前向きに検討したい。

市長のマニフェストは 実行できるか

市長／職員を5年間で50人削減



徳峰 一成 議員

乗合タクシーの 運行の充実を

徳峰一成議員 旧3カ町の役場を中心に結ぶ「乗合タクシー」の運行など、充実した交通体系の整備は急務ではないか。

池田市長 旧大隅町内をまわるあらたな運行、あるいは旧3カ町の役場を結ぶ運行など、平成18年度中に実施したい。

課長職等の 削減を含む行革を

問 市長の公約である5年間に50人の職員の減は、

ながら、毎年の図書購入予算が100万円ずつカットされている。数年前の700万円台にもどすべきではないか。

市長 移動図書館車を、早期に2台に増やしたい。これ以上の予算はカットしない。予算の増額は十分検討したい。

強力な少子化対策を

問 今後5年間に櫛小は83人から35人に、光神小は34人から14人に、旧大隅、財部をふくめ児童の減少が著しい。少子化対策は財源的にも最優先して、やれる点は全部やる重点政策にかかげるべきではないか。

特に旧末吉町で大きな成果を上げている、しかし、今中止されている、活性化住宅の建設を今後再開するよう、強く要求したい。



全校児童 83人が5年後は35人に（末吉町櫛小）

市長 活性化住宅には財源がともなう。しかし少子化問題を放っておくわけにはいかない。今後やれるか財源を見きわめながらやる方向で検討してまいりたい。

公共施設の 赤字解消に取り組む

問 平成16年度の旧3カ町の施設の収支について聞きたい。

市長 旧末吉町は19の施設で赤字は2億5781万円、旧大隅町は16の施設で赤字は1億295万円、旧財部町は17の施設で赤字は7666万円である。

問 施設の全体の赤字4億3千万円は、市の一般財源で対応しなければな



収支改善に取り組む末吉総合センター

らない。私は20年ほど前から施設の収支の改善を要求し続けてきた。その後旧末吉町は施設ごとの収支改善の年次計画を立て取り組んでいる。旧大隅、財部の施設について収支改善の計画がないのなら、すべての施設について赤字解消の目標値を定めるべきではないか。庁舎のように収入のない施設は支出について改善をはかるべきだ。今後ともくり返し取り上げたい。

市長 今後、検討させていただきたい。

財部工業団地隣りを宅地分譲する考えは

市長／少子高齢化対策として他の地区に計画



井手上博文 議員

井手上博文議員 市長は過疎対策或は人口流失防止の一環として、曾於市財部町工業団地に隣接する私有地財部町下財部字並松添一六三八番一面積6253㎡同じく下財部字並松添一六四四番一面積5182㎡合計1万1



財部町新並木の工業団地周辺

435㎡を買収し、曾於市活性化のためにも宅地分譲をする考えはないか、伺いたい。

池田市長 県道からの進入路が狭く幅員4mの農道で以前から財部町に買い上げの依頼があり、平成16年度には工業団地、住宅団地の両面から検討がなされ、現在のところ企業誘致はきびしいので

市独自の少子化高齢化対策は

ります。

問 少子化、高齢化については全国的なものであります。国の対策、県の対策もそれぞれおこなわれております。市長は市独自としてどのような対策を考えておられるのか、また特に幼児教育対

策について伺いたい。ことでは工業団地としての開発は断念され、住宅団地としては平成16年11月より今の土地の近くにたからニュータウン48区画を分譲販売をいたしております。同地区に集中するということから他の地区にも計画をし少子高齢化対策には適切ではないと住宅地としては断念されたところであ

策について伺いたい。

市長 国地方を問わず大きな課題で国におきましては平成15年次世代支援対策推進法が制定され少子化対策は自治体や事業主の責務とされておりまして。曾於市におきましても児童数は過疎化の傾向にあり保育所児童総数は850人で平成20年度には686人となる見込みであります。少子化社会をむかえ核家族化労働形態に大きな影響を及ぼしており今後の児童福祉対策はきわめて重要な課題であると考えております。本市の対策としては、本年3月に合併を前提に策定した次世代育成行動計画に基づき児童を健全に育成するために安心して生み育てることの出来る支援社会の形成に向けた行政施策を推進して行くところであります。

財部町私立学校助成の継承を望む

問 私は特に財政支援が

必要と思っております。それは昭和46年7月30日制定された財部町私立学校助成条例第四条第一項及び財部町私立学校助成交付規則を継承してもらいたいと思っておりますが、市長はどんな考えか伺いたい。また市長は少子化の歯止めほどのようにしたら良いかと思っておりますのか、伺いたい。

とりくまれるということも大事だと思えますが、近隣の都市にありませぬ幼稚園、また曾於市内に大隅末吉にあるわけですが行政からの助成金というものは全くなされておられません。財部にあります幼稚園だけに行政からの助成がなされている状況であります。そのようなことを考慮しますとやはり学校法人として独立した形で頑張っていただいたいと思っております。



財部町の曾於市立南保育所にて

子育て支援策として 入学卒業祝金の支給を

市長／貴重な意見として調査検討する



永吉 正 議員

永吉正議員 合併協議の中で、敬老祝金節目支給制度移行や、敬老会補助金廃止に対し一部には強い不満の声がある。又、反面、毎年支給制度による若者負担増を危惧される高齢者もある。少子高齢化社会対策の中で、子育て支援対策等の国策を始め、市町村段階でも色々打出されている。本市でも代替策として、敬老祝金等節目支給による剰余金を、子育て支援策として入学卒業時等に祝金を節目支給し、継続的支援策として目に見える具体

策を創設すれば、高齢者の理解が得られると思うかどうか。

池田市長 少子高齢化社会対策は大事であり、本市もその方向で進んでいる。従来の敬老祝金から節目支給に際して、一人当りの金額は上がっている。



祝福される新1年生（末吉町高岡小）

るが、市の持ち出し分は1400万円浮いてきた。一方では、児童福祉費、児童運営費、町立の保育園費、子ども発達支援センターこうしたものに、16年度から17年度に、国県補助もあるが、5282万円の増となった。このように一般財源の支出が逆に増えたが、児童生徒に対する節目の祝金は、支援事業の貴重な意見として参考にし調査検討する。

市全体を結ぶ 福祉バスの運行を

副 高齢者及び身体障害者等弱者への福祉対策として福祉バスは、財部・末吉、それぞれ旧町の範囲内で運行されている。旧3町合併にて曾於市となった以上、市全体の、公共施設、医療機関、商業施設を網羅した、バス路線の充実、お互いの交流を深め、曾於市全体の一体感を創造するためにも不可欠に思うが、考え方はどうか。

市長 高齢者等の中には交通手段を持たない人もいる。末吉財部は地域交通ネットワークを確立している現状を踏まえ、民間バス会社と連携を図りながら大隅町を含む市内全域での路線再編を確立し、18年度中に実施出来るように努力する。



末吉・財部町で運行されているバス

山間部も多く、災害対策の必要性和道路整備等の必要性を思うと共に、各地域の均衡性を保ち、早く一体感を図りたい気持である。各種行事には、約20回位参加した。敬老会、運動会、十五夜等に参加したが、従来の補助金からみの行政主導型から、補助金なしの住民主導型で色々な行事を組み合せ、子供から高齢者までの各年代参加型の工夫された行事催しが多く感じた。今後は、模範地域自治体として、近隣に普及していく必要性があると思った。

曾於市の現状と課題 将来性をどう思うか

副 市長は市長選の選挙活動で曾於市内を隈無く巡回されたと思うが、曾於市全体の現状と課題、将来性を基本的にとどのよう思ったか。また、市長として各種行事等に何回くらい参加され、印象等をどう感じられたか。

市長 曾於市全体は非常に広く、耕地も広大だが、

長寿祝金支給は 70歳以上の全ての人に

市長／財政面から考えても困難



今別府孝治郎 議員

今別府孝治郎議員

敬老

祝い金については、これまで旧3カ町で長年に渡り、70歳以上全ての高齢者にとって年1回の敬老祝金は、大変喜ばれ定着していた施策でした。ところが、今年から節目支給となり、曾於市全体の

70歳以上1万629人のうち、7割超の高齢者には支給されません。これは高齢者福祉の大幅な後退であります。合併によって切り捨てられる住民サービスでよいのでしょうか。長寿祝金(節目)支給は、白紙にもどし、70歳以上全ての高齢者に対し、公平・平等に支給する考えはないのか伺います。

者の急速な高齢化率が進む中現在の市の財政面から考えても困難であり、70歳以上全てに祝金を支給することは無理であります。

選挙公約は どのように取り組むか

問 合併にあたっては幾多の紆余曲折がありましたが、7月1日より曾於市が誕生しました。市長は選挙公約として、又、



市内の70歳以上は10,629人

所信表明において大きく五つの項目を柱として掲げてありますが、どう取り組んでいられるのか。基本的見解を伺います。

- 1、健全財政の確立を進め、ざした市政経営を進めます
- 2、人と自然が共生し、地域資源を生かしたまちづくりを進めます
- 3、個性豊かな人づくり、教育文化のまちづくりを進めます
- 4、快適で住みよい、住んでみたい安心して暮らせる安全なまちづくりを進めます



快適で住み良いまちづくり

色々な面で有利に行政を進められる。また健全財政を進める中で、人件費を節約するのが一番である。行政サービスを低下させてまで削減の必要はないが、行政サービスを劣らせないよう取り組んでいきます。

- 5、少子高齢化社会を健やかに共生協働で支え合う福祉のまちづくりを進めていきます。

次の定例議会は12月です 傍聴席はあなたが主役

議会を傍聴することは、市民として市政を知る最もよい方法です。ぜひ、議会を傍聴しよう心がけましょう。定例会は、3月・6月・9月・12月です。議会を傍聴されたい方は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

☎0986-76-1111 (内線1311)

在宅寝たきり老人介護 手当の対象期間見直しを

市長／検討させていただきたい



五位塚 剛 議員

五位塚剛議員 在宅寝たきり老人等に対して介護

手当での助成があるが、6ヶ月以上寝たきりでないと対象になっておりません。対象期間を見直ししてほしいとの声がある。介護者を支援する立場からも見直しすべきではないか。

末廣市民福祉部長 この制度は全市民的に1万円の介護手当助成を始めたばかりである。検討課題として考えていきたい。

問 市長も自宅で介護してもらった方が、財政的に市の負担が少なくなる

小規模水道組合への 支援確立を

問 曾於市内で市の上下水道や簡易水道を利用されていない、自治会、組合はいくらあるのか。

市長 末吉町区で9ヶ所、大隅町区では43ヶ所、財部町区では36ヶ所の合計で88ヶ所です。

問 曾於市内で88ヶ所が組合方式である。このすべてが小規模水道事業補助の対象地域になるのか。

市民福祉部長 小規模水道

道施設事業の補助対象組合であれば、事業費の3分1以内の補助対象となる。

介護者の負担軽減を図る研修会



問 畷ヶ山水道組合が水道施設のポンプが故障したので、施設補修について補助申請されたが、池田市市長名で却下された。その理由を示してほしい。

市長 今回は施

設の新規ではなく、落雷によるポンプの故障であるため、補助対象外になって申請を却下した。

問 条例では新規事業という項目はない。市長がやむをえないと認める事もできるとなっている。当然認めるべきである。

北部畑かん事業は 中止すべき

問 末吉地区の農家を含めて財部・大隅の農家からも、北部畑かんはやめて

いただきたいの声が多い。414億かけたムダな事業。そして農家の要望のない大型畑かんはやめるべきではないか。

市長 曾於北部はシラス地帯であり、現在は雨水による営農しかできない。平成8年に95%の同意がされているので、事業を中止する考えはありません。

問 畑かん事業説明書では平成8年に事業を開始し平成19年度に完成するとなっている。実際の完



甘藷畑のスプリンクラー（大隅町西原地区）

成は何年度を予定しているのか。

福田産業経済部長 平成23年度を予定している。

問 農家は今後10年15年後の完成の事業はやめていただきたいと言っている。池田市市長は今後の水を利用する農作物は何を考えているのか。

市長 農業の形態はいろ

いろ変わってくる。20年後30年後に水を必要とする時が必ず来ると考えている。

問 大型畑かんではなく水が必要とする農家へは、ボーリング方式の補助を支援した方が早くできる。今後も取りあげていく。

初議会 (第1回臨時会)

末原利雄議長 岩切 貢副議長を選出

谷川 善明 総務常任委員長 大川原主税 文教厚生常任委員長
坂元 勝 建設経済常任委員長 田中 澄夫 議会運営委員長

曾於市合併後初めての臨時会が、7月12日から14日までの3日間の会期で行われました。最年長の津曲高志議員を臨時議長として議長選に入り、選挙の結果、初代議長に末原利雄議員が選ばれました。続いて末原議長のもとで副議長選に入り、選挙の結果、岩切貢議員が選ばれました。その後、総務・文教厚生・建設経済の各常任委員会と議会運営委員会の構成が行われ、それぞれの委員長・副委員長が選出されました。

7月12日に招集された臨時会において、曾於市議会会議規則の制定・曾於市議会委員会条例の制定・曾於市議会事務局設置条例の制定の3件が発議されました。

この規則・条例は、末吉町、大隅町及び財部町の合併に伴い、制定する必要があるため、提案するもので、円滑な議会運営、委員会運営及び事務局運営を図るため制定したもので、原案どおり可決されました。

7月14日の臨時会においては、曾於市の設置に伴い、即時制定し、施行すべき条例と執行すべき平成17年度の各会計暫定予算等の専決処分事項の承認を求めるもの13件、人権擁護委員候補者の推薦と農業委員会委員の議会推薦及び曾於市農業委員会の部会の設置及び委員定数条例の制定の審議が行われました。

また、各組合議会議員の選挙も行われ結果は次

のとおりです。

専決処分事項の結果は

平成17年度曾於市国民健康保険特別会計暫定予算他8件が全員賛成で、曾於市条例226件の制定他3件が賛成多数で承認されました。

人権擁護委員決定

人権擁護委員候補者の推薦については、適任であると決定しました。

曾於市末吉町岩崎
2092番地口
山内 千代子 氏

議会推薦の農業委員3名を決定

市町村合併に伴い、平成17年6月30日まで議会から推薦された委員は

失職となりましたので、新たに議会推薦の農業委員に3名を推選することに決定しました。

柿木 幸夫 議員
瀬戸口三郎 議員
重住 紘一 議員

条例可決

曾於市農業委員会の部会の設置及び委員定数条例の制定は、選挙による委員定数が21人以上になったため、農業委員会等に関する法律の規定により、農地部会及び農政部会を設置し、それぞれの部会の委員定数を定めるもので、全員賛成で可決されました。

議長の指名推選により決定

各組合議会議員の選挙は、議長の指名推選で次の方々に決定しました。

大隅曾於地区消防組合
議会議員

末原 利雄 議員
谷川 善明 議員

岩切 貢 議員
(第1回定例会にて選出)

曾於地域公設地方卸売
市場管理組合議会議員

坂元 勝 議員
松田 司 議員

曾於地区介護保険組合
議会議員

大川原主税 議員
西 京子 議員

曾於北部衛生処理組合
議会議員

岩切 貢 議員
久長登良男 議員
片田 昭一 議員

このようにかわります！

議会のしくみ

議長

議会運営委員会 (10名)
(副議長と各委員長3名と旧町より2名ずつ)

建設経済
常任委員会 (18名)
【担当する課】
経済課・畜産課・耕地課・
建設水道課・農業委員会等

文教厚生
常任委員会 (19名)
【担当する課】
市民課・保健課・福祉課・
福祉事務所・教育委員会等

総務
常任委員会 (19名)
【担当する課】
総務課・地域振興課・
財政課・企画課・税務
課・選挙管理委員会等

在任特例期間
17・11・30

建設経済
(8名)

文教厚生
(9名)

総務
(9名)

改選後
17・12・1以降

議会運営委員会 (7名)
(副議長と各委員会より委員長を含む2名ずつの予定)

編集後記

▼新生曾於市が誕生して初めての市議会が7月12日に末吉中央公民館二階ホールで開かれました。▼議員56名、執行部43名の大所帯での審議となりました。この臨時会と9月定例会で審議された案件は、議案50件、同意案13件、承認案14件、発議案7件、陳情案3件の計87件にも上るものであり、緊張と戸惑いと期待と新鮮さの交錯した議会となりました。

▼今回の議会だよりは創刊号として発行となりましたが、只今在任特例期間で広報特別委員会がない中での編集となり、市民の皆様にご満足頂けるものとならず、お詫び申し上げます。しかし、12月の改選後は特別委員による編集で、新しい時代に向けて本市の動きを的確に、読み易い分り易い議会だよりを読んで頂けるものと思えます。